

グリーンIT アワード 2013 受賞紹介

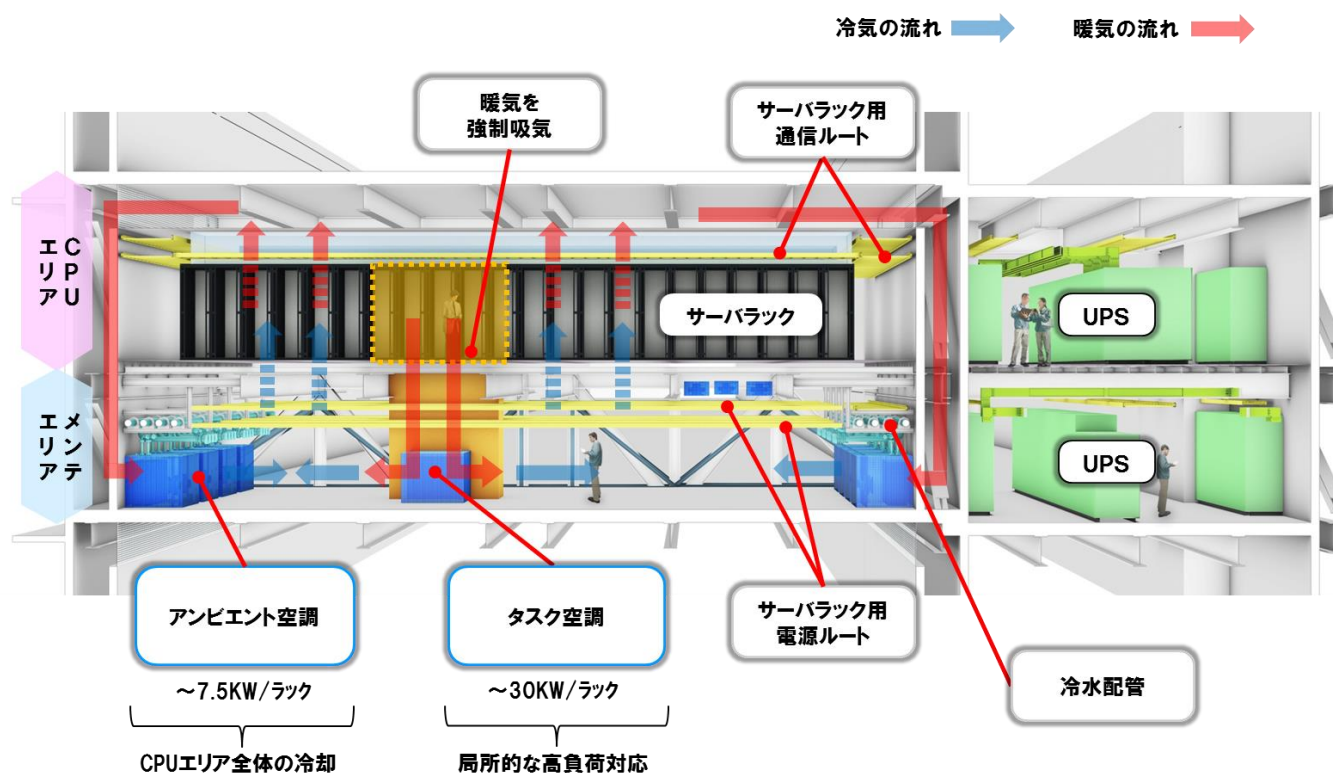


経済産業大臣賞
(IT の省エネ部門)

株式会社野村総合研究所

『野村総合研究所 東京第一データセンター』

マシンルームを、熱の発生源となるサーバ機器を置くエリアと、設備機器を置くエリアに完全分離したダブルデッキ構造とすることで、効率的な空調システムを実現するとともに、高温冷水を採用し、フリークーリングを長期間活用することで、従来の約半分の設備電力でシステムを稼働可能とする省エネデータセンターを実現。





経済産業大臣賞
(IT による省エネ部門)

東芝テック株式会社

『ペーパーリユースシステム L O O P S 循環型社会に貢献するエコ・プリンティング』

「LOOPS」は「瞬時に消せるトナー」で用紙を繰り返し利用することで約 50%*の CO2 を削減。更に印刷を消すと同時に電子化も行い、紙も情報も滞留しない、環境に優しく自由度の高い新たなワークスタイルを実現。



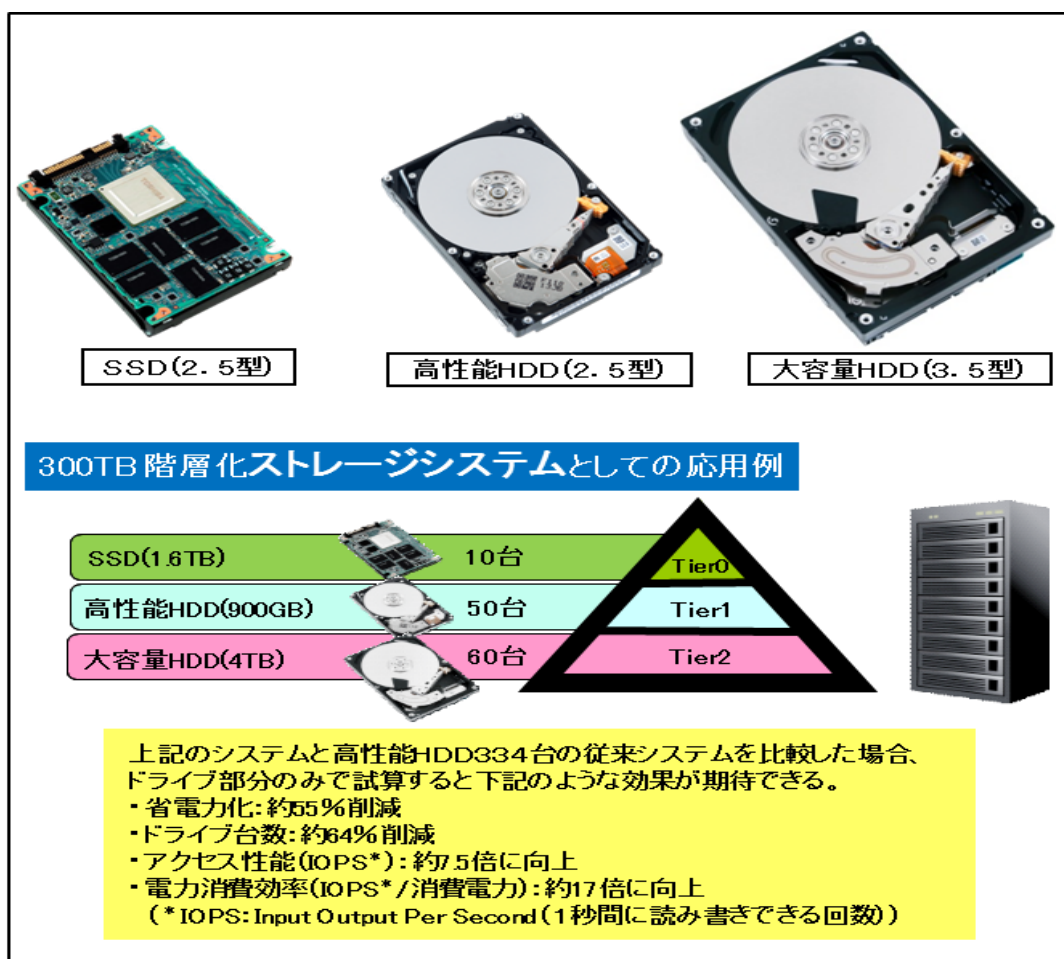


経済産業省商務情報政策局長賞
(IT の省エネ部門)

株式会社 東芝

『ビッグデータの潮流に対応するトータル・ストレージイノベーション エンタープライズ向け SSD・HDD』

エンタープライズ向け SSD 及び HDD はサーバやストレージシステムなどの用途向けに開発されたストレージ製品。東芝では近年のデータセンターなどで扱う情報の大容量化、処理の高速化、ドライブの低消費電力化に対応するため、自社製 NAND 型フラッシュメモリを採用した SSD、高性能/大容量 HDD を製品化し、トータル・ストレージイノベーションを推進している。







経済産業省商務情報政策局長賞
(IT による省エネ部門)

株式会社セブン-イレブン・ジャパン、日本電気株式会社
『コンビニエンスストアの省エネ化と改革を支える「電気見える化システム」と
「インテリジェント分電盤」』

セブン-イレブン店舗の省エネ化を目的に、各店舗における問題の把握と改善活動を支援する仕組みを「電気見える化システム」と「インテリジェント分電盤」で実現。本システムは、店舗で電気使用状況をきめ細かく把握でき、かつ、チェーン全体の電気使用量を本部やパートナー業者へ情報共有できることが特長。



電気見える化システム



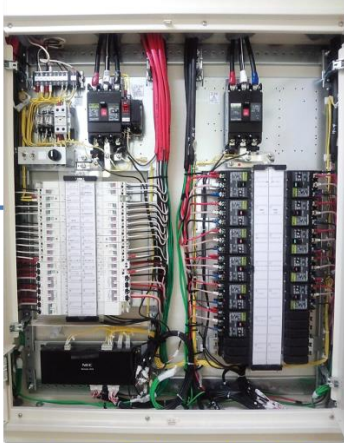
本部

省エネ対策の提案

店舗内設備機器の電気使用状況を計測・データを共有

店舗

店舗従業員



インテリジェント分電盤



グリーン IT 推進協議会会長賞
(IT の省エネ部門)

スパンション・イノベイツ株式会社

『低炭素社会を実現するエネルギーハーベスティング電源 IC (MB39C811、MB39C831)』

MB39C811/MB39C831 は、光/振動/熱などの環境発電素子から極めて高い効率で身の周りの微弱な電力を回収できます。本製品と発電素子を適用することで、電子機器の電池使用をなくし、電池交換のメンテナンスフリーを実現します。これらの製品や技術は、M2M へ向けたワイヤレスセンサーネットワーク端末への搭載が期待されています。

グリーン IT 推進協議会会長賞
(IT による省エネ部門)

株式会社村田製作所

『電子機器のライフサイクル全体でのエネルギー削減を実現する自動認識用の電子部品 (マジックストラップ LXMS シリーズ)』

マジックストラップ®は小型で堅牢な RFID 用のキーパーツです。弊社の高周波回路技術が業界標準の IC と共に内蔵されています。マジックストラップ®は、電子回路基板の導電性部 (グラウンドパターン) をアンテナとして活用する事が可能です。電子機器のライフサイクルトレーサビリティを後押しする電子部品です。

グリーン IT アワード審査員特別賞
(IT の省エネ部門)

富士通株式会社、富士電機株式会社、株式会社富士通研究所

『自然エネルギーを活用するグリーン IT コンテナ型データセンター (Modular Data Center)』

省エネ、高密度実装が可能な高いファシリティ能力(PUE 1.12、400U 搭載可)を有し、短期間での構築が可能なコンテナ型データセンター。短期間でのクラウドサービス立上げ、急な ICT リソースの需要増への対応に最適です。設置場所の制約も少なく、事業継続対策としてのバックアップサイトにも利用可能。

グリーン IT アワード審査員特別賞
(IT による省エネ部門)

株式会社 日立製作所

『自治体職員の作業効率を向上させる 自治体向け 介護保険事務支援システム (ライフパートナー/P)』

介護保険事務支援システム (ライフパートナー/P) は、今後高齢化に伴って業務量が増加していくことが予想される自治体の介護保険事務を支援し、効率よく実施するための、分かりやすく、使いやすいシステムであり、システム未使用時と比較して CO2 排出量を約 8 割削減する効果がある。